

## 霜害対策のチェックリスト

### 野菜（トンネル）

#### 【事前対策】

内容	チェック欄	備考
霜害を受けにくいほ場で、無理のない作付を行い風通しを良くしておく。		早まき、早植えしない。 耐寒性品種を利用する。
あらかじめ被覆資材等を準備し、必要に応じて活用する。		不織布などを利用する。
緊急のときには、夜間であっても裾を開けて風通しを良くする。		晴夜の風はトンネル内の植物体の温度低下を防ぐ。
日中、通路等にかん水を行う。		ほ場が乾燥気味の場合に実施する。

#### 【事後対策】

内容	チェック欄	備考
被害状況を確認して、今後の栽培計画を検討する。		
トンネル内被覆資材は早目に片付ける。		軟弱徒長等を防止する。
被害部分を除去し、当該作物に登録のある殺菌剤を散布する。		回復を図る場合に実施する。
草勢の回復を図るため、液肥の葉面散布、摘花・摘果等を実施する。		回復を図る場合に実施する。
種子のまき直し、苗の植え直しを行う。		被害が激しい場合に実施する。

※ 作業中及び見回り時に事故に遭わないよう十分に注意し、安全を確認の上、ほ場や施設の管理を行ってください。

※ 日頃から気象情報を確認し、気象災害に備えるよう心掛けましょう（特に春季は天候の変動が激しいので注意が必要です。）。